

議会だより 吉野ヶ里

35号

平成27年
6月定例会



お姉ちゃん、大きいね(鳥の隈地区にて)

● 6月定例会	2
● 議案賛否状況	3
● 一般質問	4
● 文化体育館計画概要・浄化センター汚泥処理場視察 ..	14
● 編集後記	14



議員が編集した
手づくりの議会だよりです

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサムティ&ビー【発行年月日】平成27年7月30日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ <http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>
にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリックしてください。

6月 定例会 案件賛否状況

第2回(6月)定例会																
	吉野ヶ里町議会委員会条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町議会会議規則の一部を改正する規則	平成26年度町道大曲・上石動線道路改良工事請負契約の一部を変更することについて	吉野ヶ里町監査委員の選任について	平成27年度吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第1号)	平成27年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第1号)	平成27年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第1号)に対する修正案	佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について	吉野ヶ里町東脊振温浴施設条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	
	専決処分の承認を求めることについて	【平成26年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第9号)】	専決処分の承認を求めることについて	【吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例】	専決処分の承認を求めることについて	【吉野ヶ里町税条例等の一部を改正する条例】										
	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	
	10 .. 1	10 .. 1	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	11 .. 0	
	森田浩文	古川清春	馬場茂	古川輝英	古川勲	伊東和孝	筒井佐千生	城島敏行	立石良雄	中島正晴	多良光英	伊東健吾				
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	※議席番号順 ○=賛成 ●=反対 欠=欠席 —=議長は議決に加わらない															

平成27年第2回 6月定例会

契約変更手続き遅れで工事

契約

○平成26年度町道大曲・上石動線道路改良工事請負契約の一部変更。

●繰越明許費で施工中の町道大曲・上石動線道路改良工事請負契約(平成26年10月17日議決)の請負代金に設計変更に伴う468万1800円を加え、9106万200円。年度末に工期は3月31日から6月26日に変更。

○工事もほぼ完了しているのに、何故どのような設計変更により増額されたのか。

10月24日スリット型側溝、11月17日土留めブロック、1月16日マンホール等の高さ調

6月定例議会は、6月4日から12日までの9日間の会期で開催された。今議会に提案された議案は、報告議案2件、人事議案1件、専決処分3件、条例議案5件、規約変更1件、補正予算2件、契約1件、修正動議1件、発議2件の16議案と10人の一般質問を行った。

整等の直接工事費168万9152円。

共通仮設費、他の諸経費278万848円で設計変更総額447万円(消費税抜き)である。この金額に落札率と消費税を加え468万1800円である。

5000万以上の請負工事契約は、議決案件であり、工事施工後に契約変更議案を提案することは、議会軽視ではないのか。

契約変更の手続きが遅れたことは、申し



改良された町道大曲・上石動線(畑刈交差点)

訳ないと思っている。

3月繰越明許の時点で町長、副町長は決裁されているが、担当課の責任もさることながら、トップの責任はどう考えているのか。

このような事態になったことに、お詫びする。

今後、このようなミスが生じないよう、職員教育の徹底を図る。

監査委員に寺崎氏

人事

○監査委員の選任

●代表監査委員の辞職により、新たに委員を選任する。

- ・寺崎 泰法(62歳)
- ・住所 鳥の隈地区
- ・任期 7月1日から4年間

文化体育館基本設計予算計上

補正予算(第1号)

○歳入歳出の総額に、それぞれ6349万8千円を追加し、予算の総額を75億4430万4千円とする。

●歳入の主なものは、国庫支出金433万4千円、寄附金500万円、基金繰入金4522万2千円等である。

●歳出の主なものは、ふるさと応援寄附品200万円、強い農業づくり交付金(東背振南部ライ

条例

- 個人情報保護条例
- 水防協議会条例
- 国民健康保険条例
- 国民健康保険条例
- 東背振温浴施設条例

※5条例の一部改正は、法律の施行、公布に伴い、引用箇所の改正や配当所得の規定整備等である。

文化体育館基本設計委託料については、勉強会、全員協議会でも合意に至らず、また、一般質問、議案審議でも異論が噴出しており、時間をかけ合意形成を図るべきではないか。

ダム基金の期限が平成29年度までであり「時間がない」のが現実である。



筒井佐千生議員

【町長】県全体で取り組むべき問題

農地保全のため
町農業公社の設立は

問 佐賀県農業公社が、中間管理機構として、農地の貸し手、受け手の調整を図られているが、申し込み状況はどのようなものか。

答 農林課長 平成26年度の申し込み者数は、受け手のみ2名であつたが、27年4月から、農地貸し手や受け手が増え、6月1日現在下図の状況にある。

地区	貸し手	受け手
東脊振地区	1名	3名
三田川地区	2名	4名
町外(神埼市)		1名
合計	3名	8名

問 おいての状況は。

答 農林課長 農地の貸し手面積は3町9反で、受け手の要望面積は19町7反となつてい

る。高速以北の中山間地域では、集落営農組織がある地区以外は、貸し手、受け手ともにない。

問 中山間地の耕作条件は悪く、農業機械や農作業等を共同で取り組むとか、農地保全のために、町農業公社の設立は考えられないか。

町営住宅 定住促進のための短期滞在住宅としての活用は
問 27年5月26日、空き家対策の特別

答 農林課長 面積要件がなくなり、数名で運営可能な集落営農組織の設立、また、中山間地域における補助事業の活用を図って取り組みたい。

答 町長 県全体で取り組みでいくべき問題。

オリーブやキウイフルーツを近隣市町から広域栽培し、産地化を進め、ないか申し入れがあり、採算面、栽培技術など調べ検討していきたい。

措置法が全面施行されたが、どうなるのか。

答 建設課長 空き家の所有者に、除去修繕するよう助言、指導をし、その後勧告、命令、履行しない時は強制執行を行うことができ、命令違反には50万円以下の過料に処せられる。

問 活用可能な空き家対策は。

答 建設課長 定住促進、地域活性化を図る目的で解体促進、リフォーム事業に取り組む。

問 町営住宅の空き室も多いが、定住促進のための短期滞在住宅としての活用はどうか。

答 建設課長 条例の制約、規約などの基準があるが、検討する余地はある。



空き部屋の多い中の原団地口

団地名		1月	2月	3月	4月	5月	6月
川原	2DK	1	2	2	2	2	2
	2LDK	4	4	5	5	5	5
	3DK	4	5	5	5	9	9
中の原	2DK	2	2	1	1	1	1
	3DK	19	18	17	13	13	14
萩原	3DK	2	5	2	2	2	2
	2LDK	1					
立野	3LDK	3	5	4	2		
	合計	36	41	36	30	32	33

●町営住宅の空き部屋状況



森田浩文 議員

観光協会の設立はどうするのか

【町長】独立採算できる組織を目指す

問 九州新幹線長崎ルート開業は町の商工観光発展には大きなチャンス。新幹線の停車要望活動はいつごろか。

答 町長 九州新幹線長崎ルートの具体的な方向性は未だ示されていないため、要望活動を行う時期には来ていない。

答 企画課長 「新幹線」が未来づくり協議会」も発起された。町の魅力作りに努め要望活動は行っていく。

問 特急列車停車駅実現後の利用客は増えているのか。

答 商工観光課長 乗降者は一日数名と少ないが、開業時と現在

では利用者数変わらず。イベント企画等で乗降者拡大を図りたい。

問 吉野ヶ里公園周辺に「まちの駅」構想の発言があつた。今後の方向性は。

答 町長 町及び県東部全体の観光拠点として必要と考える。博物館としての施設整備を国・県に促し、県東部の自治体と連携した「まちの駅」を目指したい。

問 町長公約の観光協会設立。外郭団体として補助金ありきの団体に陥るケースもあり、デメリットも見据えた計画が必要。設立に対する明確な目的は。

答 町長 国営公園を有しながら本町では観光協会がない。民間活力を活かし独立採算できる観光協会を目指したい。総務省「地域おこし協力隊制度」を活用等、県の意見を聞いて判断する。

問 「観光協会設立」その言葉が独り歩きしている。担当課の中に設立準備室を組織する等、実務的な準備へ着手できないのか。

答 町長 県のアドバイスを得て、平成28年度には設立へ向けた何らかの結論を出したい。



新幹線に町の夢を乗せて

問 過疎、少子高齢化の地域で明確な将来ビジョンが無いまま進む文化体育館構想。地域の将来ビジョンを示した過程の中で、東脊振地区に文化体育館が必要だと判断している理由は。

答 町長 東脊振庁舎周辺では店舗等が減り寂しさが増していくなかで、将来は賑わいの場所になればと考えている。また高齢化が進むからこそ成人病対策を踏まえて健康寿命を延ばす対策の一つに文化体育館建設が必要だと考える。

問 高い民意で選ばれた町長。旧町政で示された総合計画に囚われずとも、自らのビジョンで方向性を示しては。

答 町長 平成29年までの総合計画を尊重する。地方創生分野では独自の方向性を示していく。



古川輝英 議員

国道34号のバイパス計画は

【町長】構想はある。期成会で検討

問 鳥栖・佐賀間の34号の拡幅工事は、佐賀市より行われている、神埼市の大町橋付近までの計画はあるが、残りの鳥栖市までの計画はない。

町内においては、常時交通渋滞が発生しており、県内で交通事故発生率ワースト1の道路となっている。

答 建設課長 鳥栖・神埼間の整備促進期成会で、現道を含めたバイパス等の案がある。今後、広範囲のルート案を複数作成を行い、地元の見解を聞きながら最

適なルート案が決定される。

問 現道の拡幅は、家屋等が密集しており難しいと考えるが、町長 構想はあるが、期成会のルート案と県議団のルート案があり、期成会で協議されていく。

問 駅前交差点改良の要望活動が行われているが、予算は付いたのか。今後の計画は。

答 建設課長 予算は付いていない。同意が必要であり、調査終了後、具体的手続きを行い、地区へ説明をしていく。



早期改良が待たれる上石動地区県道

県道の計画は

問 中原・三瀬線の上石動地区の改良は、地権者全員の同意が必要であったが、全員の

方の同意が得られている。県に対して、早期に整備を行うための要望の考えは。

答 建設課長 地権者の方々の同意を得られたので、事業推進の要望を3回行っている。

答 町長 今年度、県の予算が付いていないので、補正予算などの措置を講じるよう要望し、早期に着手するよう努力していく。

町道の計画は

問 吉田・下三津東線の横田住宅付近の整備計画は、何ら進展がない。

答 建設課長 改良にしているのは、26年度までに行うと回答されていたが、27年度になっても実施されていない。どうなっているのか。

問 工法的にできる補助事業がないのなら、幹線道路であるので合併特例債でやれるのではないか。

答 町長 懸案事項と考えている。もう少し詰めていきたい。

●吉野ヶ里公園線の久留米分岐点付近、駅北側の進捗と神埼・北茂安戦の計画の進捗状況について質問。



立石良雄 議員

C級及び級外の地元建設業者に受注機会を与える為、分離分割の発注をすべし

【町長】分割ばかりの角度でなく、全体的な流れの中、取り組む

問 地元業者の保護育成について、入札の選考基準の見直し等、どの様にされたのか。

答 副町長 町内業者支援の方策として、入札説明書に、下請け又は材料納入等の契約をする場合は、町内の事業者の中から選定するように努めるものとする一文を加えた。

問 C級及び級外の地元建設業者に受注機会を与えるために、分離分割の発注をすべし。

答 副町長 受注機会を与える事は必要。分離分割発注は、事務量、事務経費が増大し、事務効率化も課題が多い。

委員会等で検討する。

問 町長 C級、級外の皆さんが取れる事業が、行政として地域に対する血の通う事業。大きな事業だけの分割ばかりの角度でなく、全体的な流れの中でその様な仕事を作るのも我々の仕事として取り組む。

空き家対策について

問 空き家をそのまま放置するのは問題の先送りである。建物の老朽化により自然災害で倒壊、犯罪火災等を誘発、樹木等が繁茂し害虫等が発生、地区の生活環境の保全に支障を及ぼしている。空き家対策法施

行後は町が崩壊等の危険性がある特定空き家と判断し、所有者が解体等の勧告を受けると、固定資産税の住宅用地が更地と同様に課税され税額が跳ね上がる。特定空き家の判断基準の策定は。

答 建設課長 特定空き家とは、倒壊等著しく保安上危険となる恐れのある状態、著しく衛生上有害となる恐れのある状態、適切な管理が行なわれない事により著しく景観を損なっている状態、周辺の生活環境の保全を図るため放置する事が不適切である状態と明記している。

幼・保の民営化について

問 公立保育園の跡地利用と場所の絞り込みをされているか。

答 福祉課長 保育サービス向上検討委員会を開催予定。民営化と判断された場合は、保育所あり方検討委員会を公募案等民営化に向けた検討を行うこととなる。

問 町長 子ども子育てで幼稚園と保育

問 認定こども園として、幼稚園と保育園を民間委託するように検討されたのか。

答 学校教育課長 学校の設置者が町である以上民営委託は出来ない。国で公設民営の検討があり、今後動向を見ながら研究検討の必要はある。



町立吉野ヶ里保育園



伊東和孝 議員

【町長】当初はその考えでいたが、一般住民のスポーツによる健康づくりの体育館の考えになった

文化体育館建設は東脊振中学校との兼用ではなかったか

問 文化体育館建設予定地が、東脊振中学校北側にされた理由は。

答 ダム対策推進課長 スポーツを通じ健康体力づくり、文化活動等を行う場合、庁舎、学校、きさら館など公共施設が集まっていることにより連携が取れ、駐車場の確保ができることが挙げられる。

問 当初の計画は、東脊振中学校体育館が老朽化していることで中学校体育館北側に兼用で建設する予定ではなかったか。

答 町長 当初はその考えであったが、



文化体育館建設候補地

中学校体育館との兼用では、昼間一般の町民が使用できないことなどを考え、単独で建設することによりスポーツによる健康づくりを推進したい、また文化活動の拠点にしたい。

問 町内に空き家が157戸、うち倒壊のおそれがある空き家が19戸との報告であるが、倒壊のおそれがある空き家に対して、何らかの行政指導はしているのか。

答 建設課長 昨年指導により1戸のみ更地にできたという。町内各

空き家が増えている、空き家に対しては、地区の区長もあまり指導出来ないのが現状である。今回の空き家に対する特別措置法が施行されたことにより、本町も治安や防災上の問題等もあり、空き家に対しては行政指導を強化すべきと思うが。

問 三瀬・中原線の上石動改良工事であるが、地元地権者の同意がほば出来たと聞いている、早急に整備すべきと思う、事故があつてからでは遅過ぎると思うが。

答 町長 先日、土木事務所へお願いをしてきている。早急に進めていきたい。



吉野ヶ里公園線(駅北交差点)

問 吉野ヶ里公園線駅北交差点より東方向、合併前からまったく進んでいない、早急に県に申し入れて、横田、吉田線の萩原までは早急に整備すべきと思うが、周辺住民が大変迷惑されている。

答 町長 この道路に

県道の道路改良について



馬場 茂 議員

庁舎の二本化は

【町長】すぐに方針を出すのは厳しい

問 合併協議会において、10年間は分庁制で行くとされてきたが、庁舎間の往來の時間的ロスや各課連携の妨げにもなっている。庁舎の一本化はないのか。

答 企画課長 新町建設計画で10年間の町づくりが計画され、生活拠点が二つの役場を中心として設定されており、住民生活に急激な変化を及ぼさないよう配慮され、地域バランスを考慮したものである。

しかし、10年後の町づくりにおいては、住民のニーズや地域創生など多方面を見て二次の総合計画を作る上で、検討し

ていく大きなテーマと考えている。

問 町長としては、どのように考えているのか。

答 町長 合併交付金や特別債を、庁舎の電算システム整備などに相当注ぎ込んで来た。庁舎も耐震構造の工事を始めていることもあり、直に方針を出すのは厳しい。特に北部地区の少子化が進み、農協と銀行も撤退する動きがあり、インター周辺が町としての求心力を失うことが危惧される。

杉の移植、観光案は進んでいるのか



移植に向けて準備が進む夫婦杉

問 前回、夫婦杉移植の質問で課長が答えた活用案の進捗状況は。

答 町長 合併交付金や特別債を、庁舎の電算システム整備などに相当注ぎ込んで来た。庁舎も耐震構造の工事を始めていることもあり、直に方針を出すのは厳しい。特に北部地区の少子化が進み、農協と銀行も撤退する動きがあり、インター周辺が町としての求心力を失うことが危惧される。

問 いろいろな意味で町のPRにもなる。福岡を説得できないのであれば町単独でやれないのか。

答 町長 これは非常に難しい。NHK、佐賀テ

問 子供たちも携帯からスマートフォンに移行する中で、得る情報も多種多様で悪い影響や、いじめ、犯罪に巻き込まれる事案も多い。町としての対策は。

答 教育長 確かに子供間のトラブルが顕在化している。

情報社会における子供たちへの対策は

情報化社会で生きるためには最低限の技術やルールを身に付ける必要があるから、大人が認識、理解し身をもって示していかなければならない。



吉野ケ里町 議員 古川清春

「安全・安心・住みよい町づくり」に赤信号

【町長】対策として特別な手は打っていない

問 町内での交通事故が多発地域について分析、検討しているか。

答 総務課長 平成26年度全国での交通事故発生率は佐賀県が一番である（人口10万人に対する平均値）。また、人身事故発生件数は232件で本町が県内で一番多い。特に交通事故多発交差点として田手交差点での人身事故件数が佐賀県でも最も多く12件を数え、県内でもワースト1である。

問 高齢者が起因した交通事故件数69件、高齢者とは一般に65歳以上の者をいい、全体

の約31%を占めている。原因としては、

一、漫然とした運転が多いと言われている、
二、不適切な運転操作が多いと言われている、
交差点別人身事故発生件数は、田手交差点が県内トップで12件発生している。発生形態内容は、追突9件、右折時1件、出会い頭1件、その他1件である。人身事故の発生原因としては、前方不注意わき見運転が一番多く、発生時間帯は、6時～9時、16時～19時頃の薄暮時が多い傾向にある。

答

総務課長 3月には、議員発案協力



交通事故防止横断幕(田手交差点)

により街頭PRを行い、5月7日には、神埼警察署合同、交通指導員の皆様のご協力もいただき、チラシの配布、横断幕「追突事故多発! 注意!」を田手交差点に設置した。また、運転者講習会への参加を促すため、広報のやり方、内容についても、検討していく。

問 高齢者の交通事故件数が3割以上を占めている。町長としてどう考えるか。

答 町長 高齢者の交通事故予防として、老人クラブの会合や総会等で現状を認識していただくよう説明している。対策としては特別な手は打っていない。



吉野ケ里町交通事故多発交差点

問 吉野ケ里町は、佐賀県でも一番交通事故が多発している不名誉な地域なのになぜなのか。

答 町長 交通安全協会と交通安全対策協議会の違いを調べて必要性を感じれば検討する。



吉野ケ里町 議員 古川 勲

全国学力テストの公表をどう考える

【教育長】まず学校の成績を公表したくなるような学校づくりをする

問 小中一貫校について考える。

答 教育長 児童生徒が多様な教職員、児童生徒とかかわる機会を増やし、中学校進学に対する不安感を軽減するなど、小中一貫教育に取り組む意義は十分ある。

問 土曜日の教育活動が推進されているが、どう考えるのか。

答 教育長 土曜授業は県下でも統一した取り組みになっていないので、現在の取り組みを継続していく。

問 進路希望者が多くなった中高一貫教育をどう考えるのか。

答 教育長 本人や保護者の希望を尊重して送り出してやりたいと考えているが、地元の中学校で学びたいという学校づくりを取り組む必要がある。

問 自治体のトップと教育行政を執行する教育委員会の連携が図られ、「総合教育会議」の場が設けられた。会議の開催状況と検討内容はどうか。

答 学校教育課長 5月11日に第一回、次回は6月22日に予定。第一回は、予算に関する事項を準備していたが、自由な意見交換とされた。次回以降は「教育大綱」を制定するため

に、具体的事項について意見交換を行っていくことにしている。



小学校の運動会

問

大綱とは、教育や学術・文化の目標や施策の根本的なこと

答 教育長 本人や保護者の希望を尊重して送り出してやりたいと考えているが、地元の中学校で学びたいという学校づくりを取り組む必要がある。

問 町長 学力テストを公表したくなるような教育の充実、世界で活躍できる子供教育に力を入れる。また、教育問題は住民参加でやるものなので、今後は会議について公開する。

答 学校教育課長 会議のメンバーは、町長、教育長、教育委員4人である。

子どもに関わる社会環境と行政の対応

問 町内小中学校自転車事故の状況



中学生の自転車通学

答 学校教育課長 平成24年度1件、26年度4件、27年度2件の事故で、死亡事故はないが、重大な事故になる事例もあった。

※ 他に子どもに関わる社会環境と行政の対応については、
1 自転車の事故対策
2 子どもの性犯罪被害
3 いじめ問題
4 性同一性障害者対応
の4問題について、執行部に現状や対応内容を質問した。



多良光英 議員

実態を考え、今後の施策は

【学校教育課長】3点について継続指導する

問 平成27年度新たに全国学力テストが実施、調査結果は。

答 学校教育課長 各学校での自校による採点では、「対県平均値において、小学校はほぼ同等、特に国語の「書く」や算数の「考え方」に課題が見られ、中学校は、県平均を下回っており、特に国語の「書く」や数学の「見方や考え方」に課題が見られた。

問 実態を考え、今後の施策と計画

答 学校教育課長 基礎学力を高めるため、次の3点を継続指導



小学校授業風景



中学校授業風景

①繰り返し学習を通して基礎・基本を身につけさせることで、さらに自信とやる気を持たせる。
②身に付けた知識や技能

等を活用させる活動を学習の中に増やす。
③学習訓練を徹底し、授業に集中して取り組ませることで、効率よく学習せ学習の成果を高める。

問 学校で先生が子どもたちと向き合う時間をつくるためにも、教員経験者を学習支援ボランティアとしての活用を。

答 学校教育課長 取り組みを検討、候補者を探し出せずにいる。

大学の教育系学生をボランティアに検討。

問 「公表したくなる学校」となる目標は。

答 教育長 まだ目標数値は設定していない。

答 町長 公表する目標を一定年度設定する。学力向上ができる環境づくりを工夫。

観光ガイド育成は

問 観光ガイドの育成の進捗は。

答 商工観光課長 県観光連盟では県



レンタル自転車

光ボランティアガイド連絡協議会研修会が毎年実施。課職員が研修。観光戦略協議会等に議題にあげ、養成につなげていく。

問 協会設立前に観光マップの作成は、時間帯やレンタル自転車を考えたマップづくりを。

答 町長 民間が「トップパス」協会上で、連携を組み、取り組んでいく。



城島敏行 議員

地域格差を伴う文化体育館は中止すべき

【町長】スポーツ環境を整えることが重要なことと位置づけている

問 24年8月のアンケート調査で、防犯、交通安全の充実、雇用対策、勤労者福祉の充実、道路、交通網充実が住民の要望であった。

アンケート調査が実施される以前から住民は防犯、交通事故、道路、交通網に不安を感じている。アンケートの要望を無視、先送りしてきた行政施策が、25年には交通事故多発、佐賀県ワーストワンに押し上げ、不名誉な吉野ヶ里町になった。

住民の要望を無視するかのごとく、東脊振中学校北側の田畑に文化体育館建設計画が進められている。

合併して10年を迎えようとしている今日、少子高齢化が進み、人口減少に向かっている現状、さらに、本町は南北に長く、地理的な問題があり、東脊振中学校北側の文化体育館建設場所に箱川地区、立野地区の住民が来てもらえるだろうか。地域格差を伴うような文化体育館建設は中止すべきと思うが。

答 町長 アンケート調査は、スポーツ

のできる環境が十分に整っていないかたと捉えている。自らの健康は、自ら守る、身近にできるスポーツ、自分に合ったスポー

ツ、体力に合ったスポーツが不足しているため、行政の責任として、今後、健康づくりも含めて、スポーツ環境を整えることが重要なことと位置づけ、文化体育館建設に取り組んでいる。

中学校体育館建設に切り替えはできないか

問 東脊振中学校体育館は37年を経過

し、老朽化が進み天井及び壁等の塗装が剥がれ、階段、アリーナ、床に塗装片が散乱している。塗装の破片で目の角膜を傷つけたりしたら、大変な事故になる。今までに重大な事故が



塗装が剥げ落ちている体育館

答 町長 そんなにひどくなっていると、は思わなかった。緊急性がどのくらいか調べ、早急に対処する。

問 中学校体育館に問題、事件、事故はなかったか。

答 学校教育課長 問題はありますが、危険度のあるものから修理をやってきた。

平成25年に文科省の指摘で、地震の時にバスケットゴールが落下の危険があるので撤去をした。

答 教育長 バレーの授業時間に、塗装片が生徒の目に入ったと報告を受けた。

文化体育館施設 整備計画概要

6月定例会において、文化体育館関係補正予算が賛成多数により可決された。

【基本的考え方】

- (1) 健康づくり・文化活動の拠点施設
 - (2) 少子高齢社会への対応施設
 - (3) 地域のコミュニティの核となる施設
 - (4) 防災施設・避難所となる施設
- となる。

【文化体育館の活用計画案】

- ・生涯スポーツ活動、生涯学習活動の拠点で、目的に応じた健康づくり・文化活動に幅広く活用できる。
- ・多くの人が利用できる配置を行い、個人が利用可能なトレーニング室を設置。
- ・親子で遊べるスペースなどを設置。

地域の人々に親しま

れ、スポーツ活動や文化活動の楽しさを広める役割を担う。

- ・自然災害発生時、一定期間避難所として維持ができ、復旧・復興の拠点としての機能をもつ。

- ・場所 石動地区
- ・面積 約1.3ha
- ・建築延床面積 5000㎡

・総事業費

21億4500万円

(用地費・外構工事費)

6月補正予算(関連)

報償費	116千円
需用費	62千円
役務費	7千円
委託料	2470万円
(調査業務)	
(地形測量業務)	
(基本設計業務)	
(基本設計支援業務)	

浄化センター 汚泥処理設備

汚泥処理施設増築工事現場を視察

○建設工事費

8億1600万円

(税込み)

○工期

平成26年8月23日～

28年3月25日

○工事概要

- 建設工事
- ・土工事
- ・建築工事
- ・建築機械設備工事
- ・建築電気設備工事



浄化センター視察

○水処理設備工事

- ・主ポンプ設備
- ・分配槽設備

・オキンデーション

ドイツ

- ・最終沈殿池設備

○汚泥処理設備工事

- ・汚泥脱水設備
- ・汚泥濃縮設備

○電気設備工事

- ・受変電設備
- ・水処理運転操作設備
- ・水処理計装設備
- ・汚泥処理運転操作設備

- ・汚泥処理計装設備
- ・監視制御設備

○監理費

○協定余裕枠 10%

お詫びと訂正

3月定例会の議会
だより34号5ページの
決算特別委員会質疑
応答の中、軽トラ市補
助金額を二〇〇〇万
円と記載していまし
たが誤りで、正しくは
二〇〇万円でした。
お詫び申し上げます、訂
正いたします。

編集 後記

ワールドカップで大活躍
のなでしこジャパン、女性
が大活躍する近年、全国1
74市区町村議会のうち、
女性が一人もいない「女性
ゼロ議会」が2割を占める
ことが調査でわかった。地
方議会では、政府が掲げる
「女性が輝く社会」に向け
た男女共同参画の実現は遠
い現状である。県内では
「女性ゼロ議会」は本町と
玄海町、有田町の3町の
み。少子化問題、子育て支
援問題と女性の活躍の場が
多く求められる。本町も次
期改選の時は女性議員誕生
を期待したい。

(和孝)

○議会広報特別委員会

委員長	多良 光英
副委員長	古川 輝英
委員	中島 正晴
〃	城島 敏行
〃	伊東 和孝
〃	古川 清春